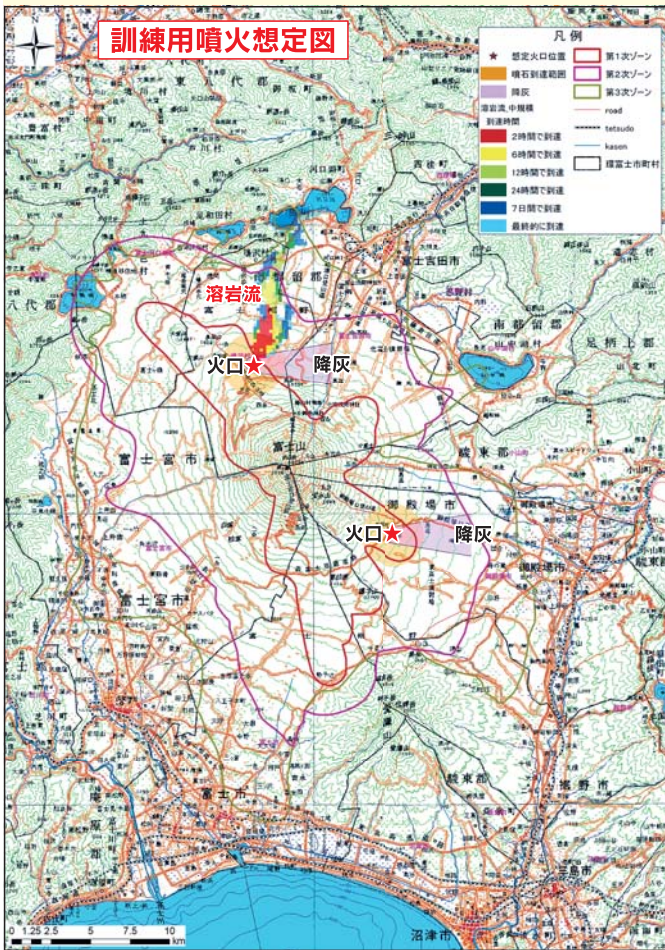




ふじあざみ

富士山噴火を想定した危機管理訓練を実施

富士山は有史以降も活発に活動を繰り返してきた活火山であり、噴火した場合には、周辺の地域に甚大な影響が予想されます。富士砂防事務所では、富士山噴火に伴う土砂災害に備えるための検討を実施しており、その一環として富士山噴火時に対処するための危機管理訓練（図上訓練）を関係機関との連携および職員の意識向上、防災体制の課題抽出を目的に、平成22年1月26日(火)富士砂防事務所を会場として、関連する18機関（約60名）の参加により実施しました。



北北西斜面で噴火を想定

訓練想定シナリオの概要



【参加機関】

中部地方整備局、富士砂防事務所、静岡地方気象台、静岡県、山梨県、環富士山火山防災連絡会構成市町村（御殿場市、小山町、沼津市、富士宮市、富士市、裾野市、長泉町、鳴沢村、富士河口湖町、西桂町、富士吉田市、山中湖村、忍野村）

【ロールプレイング訓練】

富士砂防事務所職員がプレイヤー役、中部地方整備局、静岡地方気象台、静岡県、山梨県、環富士山火山防災連絡会の構成市町村がコントローラー役となり、富士山噴火に係る重要局面を2場面設定し、関係機関からの情報提供依頼や緊急減災対策に関わる相談等に対処する訓練（シナリオによりロールプレイング方式の図上訓練）を実施

【イメージトレーニング】

環富士山火山防災連絡会の構成市町村が、富士山噴火時における具体的な行動をイメージし、噴火災害における対応マニュアルの整備を促進するため、災害シナリオに合わせた次の3つの課題をワークショップ形式で検討し、行動フローを作成

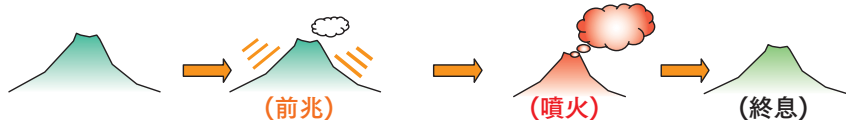
- 課題1：重要局面1において「避難計画の立案」
- 課題2：重要局面2において「避難勧告範囲の設定」
- 課題3：重要局面2において「広域避難（域外避難）」

訓練結果の概要

【ロールプレイング訓練】

訓練では、富士砂防事務所の直轄区域外での噴火を想定したことから、「事務所で判断すべき内容が明確でないため、事前に整理が必要」など富士砂防事務所の役割分担に関する課題、「噴火に係わるドリルマップの公開に関する方針が必要」など現状の情報提供についての課題等が反省会で確認された。

今後、訓練結果およびアンケート結果、評価結果を取りまとめ、噴火時の危機管理体制、危機管理対応の課題・改善策を検討していく。



プレイヤーの状況【訓練中】



対処フロー図

【イメージトレーニング】

山梨班、静岡班に分かれ、自治体として富士山噴火の際に求められる行動を検討し、各課題別の対処フローを作成した。

トレーニングの結果、「地域防災計画を含めた各市町の調整が必要」、「広域的なマニュアル・体制の整備が必要」などの意見と共に、「防災担当者同士で意見交換ができた」などトレーニングに対する評価がなされた。

今後、訓練結果およびアンケート結果を取りまとめ、参加市町村へフィードバックすることで、噴火災害における対応マニュアル作成などの基礎資料としての活用を期待する。



イメージトレーニングでの検討状況

富士山の噴火警戒レベルの内容は
気象庁HPで紹介されています。



レベル	警戒レベル	対応要領	対応要領
5	噴火警戒レベル5（特別警戒）	噴火警戒レベル5（特別警戒）	噴火警戒レベル5（特別警戒）
4	噴火警戒レベル4（厳重警戒）	噴火警戒レベル4（厳重警戒）	噴火警戒レベル4（厳重警戒）
3	噴火警戒レベル3（高度警戒）	噴火警戒レベル3（高度警戒）	噴火警戒レベル3（高度警戒）
2	噴火警戒レベル2（注意警戒）	噴火警戒レベル2（注意警戒）	噴火警戒レベル2（注意警戒）
1	噴火警戒レベル1（常時警戒）	噴火警戒レベル1（常時警戒）	噴火警戒レベル1（常時警戒）

http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/kaisetsu/level_toha/level_314.htm

静岡大学 小山教授の講評（富士砂防事務所にて要約）

- ・富士山噴火災害における富士砂防事務所の実施すべきことを常に考えて欲しい。
- ・富士砂防としては、到達時間の遅い溶岩流よりも、事態が急変する噴火後の土石流・融雪型火山泥流が怖い。発生源も特定しづらい。このため、最悪シナリオを想定すべき。
- ・また噴火前の情報（GPS、傾斜計）から1日前には噴火口の位置は特定可能。提示されなければ、要求すべき。
- ・昨年訓練よりも、情報を共有するためにボードへの書き出しを実施していたが、部屋が手狭で対応に支障がある。大きな図面で情報共有できるシステムが必要であり、情報を一人が一元管理する仕組みが必要。



「第14回富士山への手紙・絵コンクール」受賞者決定

平成22年1月30日(土)、富士宮市、富士宮市教育委員会が主催し、富士砂防事務所が後援する「第14回富士山への手紙・絵コンクール」の表彰式が、富士宮市市民文化会館で開催されました。

コンクールは、国内外より多くの方々から応募いただいております。今年は手紙部門5,282点と絵部門2,773点のあわせて8,055点の応募がありました。表彰式では、手紙部門・絵部門それぞれの受賞者に、表彰状が送られました。



審査会の様子

■絵部門最優秀賞



幼児の部
武市 紫音さん (愛知県半田市)



小学生低学年の部
志村 折夕さん (富士根南小2年)



小学生高学年の部
永野 雄也さん (伝法小6年)



中学生の部
秦 亜生さん (西富士中2年)



高校生・成人の部
上原 新さん (富岳館高校1年)

手紙部門最優秀賞

- 小学生低学年の部
谷 晃太さん (貴船小2年)
- 小学生高学年の部
小田 将広さん (兵庫県西宮市立高木小6年)
- 中学生の部
青木 優奈さん (富士宮第二中3年)
- 高校生・成人の部
横山 尚子さん (新潟県新潟市)

富士山大沢川で砂防事業が着手されてから今年度で40周年 (第2回)

昭和44年(1969)富士山大沢川で、国による砂防事業が着手されました。今年度は着手から40周年となり、これまでの砂防事業が歩んできた歴史を紹介します。今回はその2回目です。

(第1回は第70号に掲載)



富士宮市上井出の河底橋



田子の浦港土砂堆積

昭和45年、国は富士砂防工事事務所(現富士砂防事務所)を設置するとともに、大沢川砂防基本計画を策定し、現地では大沢第8・第9床固工事に着手するなど、工事も本格化してきました。しかしながら昭和47年、大沢川では4たびにわたる土石流や豪雨が発生し、下流域に多大な災害をもたらしました。

昭和47年5月1日、大沢川源頭部の残雪による雪崩と降雨により、堆積した多量の土砂が土石流となって一気に山麓の扇状地に流下し、多量の土砂を堆積させ、泥流は潤井川を経て河口の田子の浦港まで相当量の土砂を堆積させました。また、扇状地の既存砂防施設に各所で損壊流出の被害が発生。続いて5月5日、6月8日、7月21日にも豪雨があり、その度に扇状地に土石流が流出し、潤井川沿岸の耕作物並びに耕地に多大の災害が発生しました。

この災害を契機に学識者からなる「富士山大沢崩れ対策協議会」を設置し、今後の方針を検討することとなりました。

災害対策山静神連絡会議の開催

平成22年1月29日(金)神奈川県小田原合同庁舎において、山梨県、静岡県、神奈川県の三県と関係市町村や防災関係機関（警察、消防、自衛隊、気象台、国土交通省）などが一堂に会し、富士山の火山噴火警戒レベルに応じた交通対策、避難対策に関する図上検討会が開催され、関係機関の連携強化のため意見交換がなされました。



環富士山火山防災連絡会の開催

平成22年2月5日(金)御殿場市民会館において環富士山火山防災連絡会の平成21年度第2回定期協議会が開催され、富士山周辺16市町村における富士山火山防災活動について協議されました。



由比出張所が移転します

平成22年4月1日(木)から由比出張所が移転します。
 現住所：〒421-3104
 静岡県静岡市清水区由比北田110-1
 新住所：〒421-3221
 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8
 (旧蒲原町役場)
 TEL 054-389-1202



富士山総合学習及び現地見学会



富士砂防事務所では、富士山総合学習や事業への一層の理解を深めていただくため、公共団体等より依頼を受けて、事業についての説明・案内を行っています。

平成21年4月～平成22年1月までに、約1800名の皆様が富士砂防事務所が所管する大沢崩状地・大沢崩れや由比地すべり対策箇所を訪れ、砂防事業等について理解を深めていただくことができました。



11月10日
富士宮市介護保険事業者



11月20日
岩本山の環境と水を守る会



11月25日
NPO法人IBA未来塾

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せ下さい。

富士山に関する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験をされた方の情報提供をお願いします。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
 TEL 0544-27-5387

担当/調査・品質確保課 永井、辻まで
 インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>
 E-mail fujisabo@cbr.mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所
 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9
 TEL 0544-54-0236

■由比出張所
 〒421-3104 静岡県静岡市清水区由比北田110-1
 TEL 054-375-5646

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基にしています。

今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。